

(学校番号062) 令和4年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【片柳小学校】

2022/4/28		
目標・策		
知識・技能	R3年度全国学習状況調査及び、R元年度市学習状況調査の自校結果より、国語・算数の「知識・技能」において2pt向上させる。(R4年度市の学習状況調査の「知識・技能」で市の平均を上回る。)	⇒ ・タブレットパソコンを活用した、基礎学力定着プログラム(ドリルパーク・スタディサプリ)を朝学習等で実施する。(国語・算数)
思考・判断・表現	R3年度全国学習状況調査及び、R元年度市学習状況調査の自校結果より、国語・算数の「思考・判断・表現」において2pt向上させる。(R4年度市の学習状況調査の「思考・判断・表現」で市の平均を上回る。)	⇒ ・児童主体の「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を行う。 ・全学年において、発達段階に応じた「書く」課題を設定する。 ・アプリを活用して児童の思考の過程が、追えるようにすることにより、つまづきや課題を整理し、指導の改善に役立て、個別最適化の学習につなげていく。
主体的に学習に取り組む態度	R4年度全国学習状況調査及び、さいたま市学習状況調査「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。	⇒ ・授業の中で児童とともに課題を設定し、解決の動機付けを行い、自力解決する場を設定する。 ・「家庭学習の手引き」を作成し、個人面談の際に、家庭での自主学習の方法等について説明し、保護者との学力向上に向けた、協力体制を構築する。

2022/9/15		
中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
知識・技能	なし	⇒
思考・判断・表現	なし	⇒
主体的に学習に取り組む態度	なし	⇒

2022/8/29	
全国学力・学習状況調査結果・分析	
R4年度全国学習状況調査の「知識・技能」において、R3年度全国学力・学習状況調査の自校結果と比較し、国語:-2pt算数:-3ptであった。国語は漢字の活用に課題が見られ、算数では、表やグラフの全体と部分に着目する問題に課題があった。	
R4年度全国学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R3年度全国学力・学習状況調査の自校結果と比較し、国語:-0.3pt算数:-5.2ptであった。国語においては全国平均を上回ったものの、算数・理科では、全国平均を下回った。国語では、計画的に自分の考えをまとめいくことに課題がみられ、算数では、数の処理の仕方や、単位量をもとめる問題に課題があった。理科では、情報を分析して自分の考えをもつ問題に課題があった。	
R4年度全国学習状況調査の「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答は90.2%と全国平均を大きく上回る結果が見られた。「学習した内容や、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問項目においても、肯定的な回答は90.2%で全国平均を上回っていた。この結果を維持できるようより一層授業改善に努めていく。	

2023/2/24			
さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3	R4年度さいたま市学習状況調査において、R元年度調査より、国語-16pt、算数は+4ptであった。国語は書くことと、読むことに課題が見られる。算数は図形と測定に関しては、向上が見られ、数と計算の領域に課題が見られた。(市の平均正答率は、R元年度調査より国語-11pt、算数+3pt)	小4	R4年度さいたま市学習状況調査において、R元年度調査より、国語+6pt、算数は-2ptであった。国語はすべての領域に数値の向上が見られる。算数は図形と測定に関しては、向上が見られ、数と計算の領域に課題が見られた。(市の平均正答率は、R元年度調査より国語+1pt、算数-3pt)
小5	R4年度さいたま市学習状況調査において、R元年度調査より、国語-9pt、算数は-9ptであった。国語は特に話すことと聞くこと、読むことに課題が見られる。算数は、特に図形の領域に課題が見られた。(市の平均正答率は、R元年度調査より国語-9pt、算数-1pt)	小6	R4年度さいたま市学習状況調査において、R元年度調査より、国語-5pt、算数は-3ptであった。国語は読むことこの領域には向上が見られた。話すこと・聞くこと、書くことに課題が見られる。算数は、特に数と計算の領域に課題が見られた。(市の平均正答率は、R元年度調査より国語-4pt、算数+3pt)

2023/2/22		評価(※)
成果指標に対する達成状況		
知識・技能	R4年度全国学習状況調査の「知識・技能」において、R3年度全国学力・学習状況調査の自校結果と比較し、国語:-2pt算数:-3ptであった。R4年度さいたま市学習状況調査国語「知識・技能」においてR元年度調査より小3-15pt、小4-3pt、小5-4pt、小6+1ptであった。(市の平均正答率は、R元年度調査より小3-13pt、小4-4pt、小5-8pt、小6-2ptであった。)	C
思考・判断・表現	R4年度全国学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R3年度全国学力・学習状況調査の自校結果と比較し、国語:-0.3pt算数:-5.2ptであった。R4年度さいたま市学習状況調査国語「思考・判断・表現」においてR元年度調査より、小3-14pt、小4+24pt、小5-13pt、小6-10ptであった。(市の平均正答率は、R元年度調査より小3-2pt、小4+20pt、小5-8pt、小6+0ptであった。)	C
主体的に学習に取り組む態度	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、R4年度全国学習状況調査では、肯定的な回答は90.2%と全国平均を大きく上回る結果が見られた。R4年度さいたま市学習状況調査の「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問項目では、75%であった。	B

2023/3/1	
次年度への課題と改善策	
知識・技能	低学年ほど、学力の定着が図れていない結果となった。しかし、学年が上がっていくに連れ、数値が好転している傾向が見られる。それは、学校として取り組んでいる「基礎基本の時間」の活用や、ミライシードのドリルパークやスタディサプリなどの活用による、反復練習による効果も大きいと考えられる。特に、低学年への基礎学力向上の方策を考えて実行していきたい。
思考・判断・表現	国語においては、自分の考えを計画的・具体的に書くことに課題が認められた。今後は、国語に限らず教科横断的に書く機会を多くしていきたい。また、算数においては数の処理や計算の活用に課題が見られる。しかし元年度調査より、数値の向上も見られるので、引き続きICT機器の活用もしながら改善を続けていきたい。
主体的に学習に取り組む態度	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答は90.2%と全国平均を大きく上回る結果が見られた。「学習した内容や、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問項目においても、肯定的な回答は90.2%で全国平均を上回っていた。今後も家庭と連携を図りながら、主体的に学習に取り組む態度を育てていきたい。

※評価
 A 8割以上(達成) C 4割以上(あと一歩)
 B 6割以上(概ね達成) D 4割未満(不十分)